

おおの議会だより

No. 63

60.10.15

“運転手さん シートベルトを
忘れないでね”

当市議会は9月定例会で、安全な郷土づくりを目指すため、市民総ぐるみでシートベルト着用運動を進めることを決議しました。

219回9月定例会

15議案を可決・認定

シートベルト着用も決議

第219回定例市議会は9月17日招集され、会期を26日までの10日間と定め、理事者から提出された議案11件について審議しました。その結果「昭和60年度大野市一般会計補正予算案」「第二次大野市総合計画基本構想について」など全議案を可決・認定・同意しました。

最終日には議員提案による「人事院勧告の完全実施を求める意見書」「シートベルト着用に関する決議」など4件を可決。市民の皆さんから出された請願・陳情は別掲のとおり決めました。

審議日程

- 17日 本会議（会期の決定、議案上程、提案理由の説明）
- 19日 本会議（一般質問、請願・陳情上程、各案件委員会付託）
- 20日 委員会（産業経済・建設）
- 21日 委員会（建設）
- 24日 委員会（教育民生・総務）
- 26日 本会議（各委員長報告質疑・討論・採決。追加議案の提案理由説明、採決）

第五十一号	八月臨時会	第五十四号	昭和六十年大野市簡易水道事業特別会計補正予算（第一号）	〃
大野市歴史民俗資料館・産業文化展示館新築工事請負契約について		第五十五号	大野市印鑑登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	〃
		第五十六号	旧大野町有給吏員退職料、退職給与金、死亡給与金、遺族扶助料支給条例の定めるところによる受給者に対する退職料等支給条例の一部を改正する条例	〃
		第五十七号	第二次大野市総合計画基本構想について	〃
		第五十八号	大野市道路線の認定・変更及び廃止について	〃
		第五十九号	大野市森目小学校改築工事請負契約の変更について	〃
		第六十号	大野市土地開発公社定款の一部変更について	〃
		第六十一号	昭和五十九年度大野市水道事業会計決算認定について	〃
		第六十二号	固定資産評価審査委員会委員の選任について	〃
		市会案第六号	市長の専決処分事項の指定について	〃
		市会案第七号	人事院勧告の完全実施を求める意見書	〃
市会案第八号	国保財政の危機打開に関する意見書	〃		
市会案第九号	シートベルト着用に関する決議	〃		
原案可決		原案可決	同意	認定

一般質問から

市政をきく



国道 158号線のネックになっている花山峠

行政改革について

問 今回策定された行政改革大綱は懇談会に諮られたものであるが今後、さらに厳しく行革を進めて

第五十二号 第五十三号	議案番号	議案等の審議結果
昭和三十九年度大野市一般会計補正予算(第二号) 昭和三十九年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第一号)	件名	
原案可決	結果	

いくため、行政改革推進協議会というような組織を設置してはどうか。

答 また、現在の大課制は市民に分かりにくいので、その見直しが議会ごとにも問題になっている。理事者は検討したいと答弁しておきながら、何の報告もないが、考え方を伺いたい。

答 行政改革推進協議会という案も結構だが、今後はこの大綱に沿って実施していくことになるので現在、市長を本部長として設けられている「行政改革推進本部」を進めていきたい。

大課制については、市民もようやくなれてきたので、今また変えることはかえって混乱を招くのではないかとの意見もある。

そうした中で、今議会でも庁舎内の部屋の模様替えに要する経費をお願いしているように、今後はいろいろの障害をなくするように努めたい。

国道 158号線について

問 大野市民が長年待ち望んでいた、国道 158号線の福井・大野間



バイパスの大野側からの着工については、今年ようやく 1,500 万円の調査費が付けて糸口が見

えてきた。この路線についてはいろいろの意見があるようだが、市としての将来の展望に立って最高の路線でなければならぬと思う。市長は路線決定についてどのように考えているのか。

また、前波・大野市間は 2 車線の予定と聞くが、将来の交通量を考慮すると 4 車線確保が望ましいと思うが、どうか。

答 現在、ネックになっている花山峠も改良が進められているが、根本的な解決にはならない。そこで調査費が付いた訳であるが、今のところ丁から隧道で美山町川上へ抜いて国道 158号線とつなぐ路線が最も早く着工、共用開始が出来るのではないかと思う。これから地元への説明に入りたいと考えているので、ご協力願いたい。車線については、2 車線であっても現在の交通量 (4,000 台) の 2 倍の通行可能な道路を建設する計画になっているが、4 車線確保についても今後県と協議したい。

水行政について

問 上・下水道事業に対する試算によると、同時着工の場合は429億円余りの膨大な経費を要するので、財政的に不可能とされている。しかし、限りある地下水の利用について、全市民の理解と協力を得てあらゆる方策を講じれば、緊迫した財政の中で上・下水道の同時着工は避けられるのではないかと思うが、どうか。

道路の融雪については、地下水に代わる表流水利用などを真剣に考えるべきでないか。

答 仰せのとおり、上・下水道事業の同時着工は財政的に非常に困難である。なんとか英知を出し合って、大野の現状に適応した方法で進めていきたい。

河川水利用による道路融雪については、県が現在工事を行っているのでこの結果をみて検討したい。

上・下水道について

問 上・下水道事業の推進については、企業管理者を中心に専門スタッフが努力しているが、終末処理場の用地確保をはじめ、どのよ



上水道の配水池に予定されている越坂付近



名水百選に指定された「御清水」

うな取り組みをしているのか。

答 下水道の終末処理場用地については、四、五年前から努力しているが、いろいろの問題があって進行していない。

下水道計画については、64年に国が下水道整備等5次計画を定める予定であるから、この計画に間に合うよう準備を進めたい。まずそのため、61年度にはコンサルタントに調査を依頼する予定である。

上水道の配水池については、現在、阿難祖地係の越坂付近を考えており、地主と話を進めている。来月早々にも測量調査をしたい。

「名水百選」の選定について

問 当市の御清水が環境庁の「名水百選」に選定されたが、このね

らいは環境保全のためにあると思う。しかし、これによって上水道事業計画に影響を及ぼさないか。また、これを観光の目玉として利用すべきと考えるが、御清水は冬期間水枯れが生じたり、地理的にも環境整備はむずかしいと思う。選定に当たっては関係課で協議をしたのか。

答 環境庁から県を通じて、市民の生活形態の一部としてとけ込んでいる綺麗な水、おいしい水はないかとの調査依頼があった。そこで関係課と協議して御清水・本願清水・篠座神社の湧き水・真名川の水等を報告した結果、御清水が名水百選に選定された。

御清水が冬期間、水枯れを生ずることは県へも報告してある。環境整備については、地元の協力を得て進めたい。

8月臨時会

歴史民俗資料館

産業文化展示館

請負契約を可決

第218回臨時会は8月21日招集され、会期を1日間と定めた後、市長提案の「大野市歴史民俗資料館・産業文化展示館新築工事請負契約について」を慎重に審議しました。その結果、全会一致で原案どおり可決されました。

水環境整備について

問 当市の水不足について建設省や県に対し、ただ「水が不足する」だけでは説得力に欠ける。

そのため現在、水資源対策室で基本的な調査を進めていると聞きますが、どのようになっているのか。この問題は大きな政治問題と思うが、市長はどのように考えているのか。

答 この問題については的確な数字を示さないと、県にも真剣に相談に応じてもらえないので、現在生活用・工業用・農業用・流雪溝等に必要用水・消雪用水・雑用水などについて、中・長期的な展望に立っての収支の調査を進めている。

今までに調査結果のデータや資料を利用し、各課と協議を進めながら行っているが、短期間にまとめられるものでなく、まだ決定的なものできていない。が、できるだけ早い時期にまとめたい。

知事と語る会で、中川知事から「水の権利の問題については、市の力だけでは解決できないので、県も力を貸しましょう」と、ある程度具体的な発言があった。これ



市街地へ水を引くために流量調査が進められている清滝川

シートベルト着用に関する決議

交通秩序を確立し、悲惨な交通事故から尊い生命と生活を守ることは、住民共通の願いである。しかしながら、昭和59年中県下では約12,000件の交通事故が発生し、交通事故により99名の尊い生命が失われている現状にある。

このような悲惨な事故を防止するための有効な手段は、自動車の運転に当たり心を引き締め、かつ交通事故による被害を軽減

するシートベルトの着用である。

よって、本議会としては住民福祉の見地から、集落・家庭・職場などの地域社会と一体になり、総力を挙げてシートベルト着用運動を推進し、安全な郷土づくりにまい進することを宣言する。

以上決議する。

昭和60年9月26日

福井県大野市議会

についてはいろいろの問題があるようだが、今後とも県の協力を得ながら進めたい。

流水占用料について

問 流水占用料というのは、河川を流れている水に対し、建設省が使用者に使用料を課すというものであるが、これは、昔から土地を耕し、水利を引いて田畑を築いてきた農民を苦しめるだけではないかと思う。理事者の考え方を聞きたい。

答 流水占用料は、ダム建設や河川改良の財源として現在、建設省で検討中であるが、農業用水に対する占用料については無理だという見解に立っている。今後、動向を見極めて対応したい。



基本構想について

問 今回まとめられた第二次大野市総合計画基本構想には、公的医療施設の構想が全くない。市民の79%が熱望している問題であるが今後の考え方を伺いたい。

答 医療問題については、これまで医療協議会でいろいろと現地視察や勉強をしてもらっている。

医療施設については公共医療施設ということをお願いしてきたがなんとかして医師会の協力を得て医師会病院を造ってもらえないかということで、現在話を進めている。

観光開発について

問 当市の発展は観光以外にはないと思う。宝慶寺、木本の弘法杉、笹又峠と国道 157 号を結ぶ通路、勝山大仏などと結んでの一大観光ガイドを計画してはどうか。

答 観光開発については、奥越の 2 市 1 村の観光協会が数度にわたり「語る会」を開き、広域的なコースの設定や、観光客把握の基礎調査等を進めてきた。

今後、観光開発を具体的に進めていくため、最近さらに一歩進め、2 市 1 村の観光協会と広域観光協議会を作るといふように話が進んでいるので、広域行政事務組合として応援していく必要があると思う。

ふるさと観光物産センターについて

問 ふるさと観光物産センターの 5 階から上部に計画されているホテル部分については、いろいろと反対もあるようである。民間活力を生かすためにもなんとかしてホテル部分は必要と思うが、もしできない場合この構想はどうなるのか。市長はこの建設についてどの段階で決断するのか。

答 センターのホテル部分については一部反対もあり、また、採算面等からの問題もあるが、建物に



当市の観光地としても有名な宝慶寺

についてはホテルを含めたものを考えている。

この建物については、ホテル部分の運営について第三セクターなどが設立され、見通しが立たない限り建設にかかれぬ。

もし、ホテル部分が不可能ということになると、この建物の建設は取り止めてもいいという意見があるので、その時点で十分検討したい。

ごみ処理について

問 これからのごみ処理については、自治体と住民がこれまでの考え方を一歩進め、これを少なくするような施策が必要である。

市内には、空き缶や空きビンのリサイクル運動に本格的に取り組んでいる町内や団体があり、さらにこの運動を市内全体に広めよう



と地道な活動を続けている。こうした住民の行政への参加・協力は、市政上まことに結構なこと

とであり、経費の節減にもつながる。これらの小さな芽を育て、はぐくむことが大事だと考えるが、理事者はこの運動へのバックアップや指導についてどのように考えているか。

答 市民の皆さんの協力を得てごみの分別収集を行っているが、不燃物の処理については相当の費用がかかっている。

空き缶や空きビン類が資源として再利用されると、不燃物の処理場確保の面や、経費節減の面から非常に助かることになる。

リサイクル運動の協力者に対する市としての手伝いや助成等については、現在、担当課で検討を進めている。

議会の傍聴

議会の傍聴はどなたでもできますので、ご希望の方は議会事務局で受け付けを済ませ許可を得てから傍聴席に入って下さい。

傍聴席では次のことを守って下さい。

- ①議場内の言論に対して、拍手やヤジで賛成・反対を表わして、会議の妨害をしたり、他人の迷惑になるようなことをしない。
- ②鉢巻や腕章をはずし、外とうや襟巻などは脱ぐ。
- ③写真・映画・録音をとりたい方は議長の許可を得る。

○傍聴は 50 人までです。

人事案件

固定資産評価審査委員会委員の選任に同意

森廣 利久氏 (73 歳)

(平沢領家第 16 号 12 番地)

自衛隊誘致について

問 56年6月の本会議で自衛隊誘致の決議をし、その後、59年6月には大野市自衛隊誘致期成同盟会が発足。以来調査活動や陳情等を行っている。特に今年7月には県議会でも誘致に対する陳情が採択されたが、市長もこれに取り組むべきと考えるが、どうか。

答 自衛隊は国の防衛上の問題であるのでむずかしい面があるが今後、県等とも十分協議したい。

入札について

問 建築設計の入札について再検討したいということであったが、まだ改善されていない。どのようになっているのか。

答 これまで建築関係の設計については随意契約を行ってきたが、これからは指名入札にしたいと考えている。まだ指名入札が行われていないのは、今年建築している建物については、昨年うちに補助金を受けるため必要な青写真を業者に依頼してあった関係からである。今年から準備をして、今後指名入札制にしたい。



市庁舎横で建築中の歴史民俗資料館・産業文化展示館

請願・陳情審議結果

番号	件名	提出者	結果
請願12号	市道編入について	大西出区長 長谷川 学	採 択
請願13号	市道延長整備について	若里区長 土本 輝一 外10名	採 択
請願14号 、27号 (14件)	市道編入について	富田地区区長会 会長 南 正雄 外10名	採 択
請願28号	黒谷・河内線林道の市道認定について	上黒谷区長 畑中吉次郎 外23名	継続審査
請願29号	市道認定について	友江24～32 面屋はつを 友江8～5 宮塚 栄吉	採 択
陳情15号	側溝改修について	大和町1区 区長 松田 巖	採 択
陳情16号	幹線農道の市道編入について	小矢戸区長 石本 二男 太田区長 大久保秀治	採 択
陳情17号	側溝設置等について	城北町区長 小池金次郎 城町2区長 帰山 仁利 中野町1丁目区長 徳佐 五市	採 択
陳情18号	里芋の基金造成について	大野市特産野菜生産安定 事業協会 理事長 大葎原 登 副理事長 橋本 祝男	みなし 採 択
陳情19号	大野高等学校の移転先について	中保区長 長谷川 久 地主代表 阿古昭次郎 外8名	継続審査
陳情20号	農業共済事業の市移譲について	大野市農業共済組合 組合長理事 杉本憲治 外9名	採 択
陳情9号	ふるさと観光物産センターのホテル部分の他転用について	福井県旅館環境衛生同業 組合理事長 八木弥太郎 大野市旅館組合 組合長 宮内 健	継続審査
陳情11号	駅東線の延長整備について	東中野区長 南川 松栄 中野町2丁目区長 西脇 敏乃 外22名	継続審査
陳情14号	大野高等学校の移転先について	上庄をよくするつどい 会長 川田岩雄 外14名	継続審査

委員会報告



外装改修工事中の市庁舎

● 総務委員会

① 行政機構の見直しについて

大課制を導入して満2年になるが、その機構はいまだに市民には理解しにくく、なじめない。理事者が説明するように課内の応援体制も有機的に行われていないようであるし、副長という職制についても、責任者であるという庁外一般の認識は期待できない。

市民の側に立った行政組織という観点からも、現行制度は欠陥があるので見直すべきであるとの強い意見が述べられた。



市道編入の希望が多い農道

② 水資源対策室の充実について

来年3月31日の水利権更新期に向けて、現在、水資源対策室で総合的に検討し計画作成を進めているが、実際の担当者は室長1人である。県に対して早急に水利用についての中・長期計画を報告しなければならない重要な時期でもあるので、室長を補佐する専任職員を配置し、水資源対策の充実を図るべきであると強く要望した。

③ 水問題について

7月23日の知事と語る会で知事は「大野市に毎秒1トンの水を確保する必要がある」と発言した。これにはいろいろと問題があるようであるが、水問題は当市の重要な課題であるので、いかに困難な実情であっても、上位機関としての知事の発言に対しては、その実現に向けて、より積極的に働きかけるべきとの意見が述べられた。

ため、毎年一般会計からの繰出金によって収支の均衡を保っているが、さらに市民の理解と協力を得て企業努力するよう要望した。

② 農道の市道編入について

最近、農道の市道編入についての要望が多いが、関係課・関係団体でよく協議し、遺憾のないようにすべきであるとの意見が述べられた。



● 産業経済委員会

① 林業行政について

林業を取り巻く情勢は労働力の減少と高齢化、木材価格の低迷など厳しい状況下にあるが、林業基盤の整備、後継者の育成、従事者の確保等について努めなければならない。このため、諸施策の実施に当たっては各種補助事業の有効的な活用を図り、積極的に取り組むべきであるとの意見が述べられた。

● 建設委員会

① 水道事業会計について

水道事業は給水開始以来6年を経過したが、給水率は非常に低く当初計画の56%にすぎない。この